

2022 年度秋 semester フィールド・スタディ 募集要項

募集期間	実習期間	募集プログラム
2022/10/12(水)～ 10/26(水) 14:00	2022 年度冬セッション期間 (2023 年 2-3 月)	P.3 参照



立命館アジア太平洋大学
アカデミック・オフィス
第 2 版
(2022 年 10 月 5 日)

フィールド・スタディとは

■フィールド・スタディ■

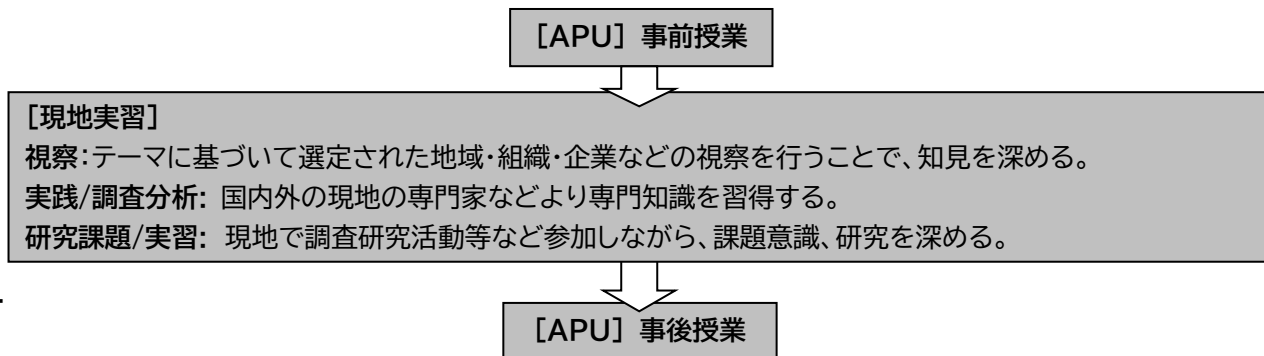
【アジア太平洋学部における特色】

アジア太平洋学部のプログラムでは、アジア太平洋学の枠組みにおいて、ある事象について包括的に学修し、専門性、誠実さ、共感をもって国際社会で活躍できる人材を育てることを目的とする。参加学生は、異なる価値観・文化を持つ他者と適切に協働することを学び、様々な事象について観察、分析、調査、議論し、組織的な解決策を講じられるようになることを目指す。

【国際経営学部における特色】

国際経営学部のプログラムでは、国際的かつ批判的な思考力及び知識・技能を持つ人材の育成を促進することを目的とする。また、専門科目に対する関連付けを高めるために、経済・経営に関する反転的な学習を経験できる。

プログラムの流れ



申請要件

■フィールド・スタディ■

【Semester】

- ・ 申請Semester時(2022年度秋Semester)、3-7 Semesterであること。
- ・ プログラム実施Semester(2022年度秋Semester)が最終Semesterの場合、申請不可。

【学籍状態】

- ・ プログラム実施Semester(2022年度秋Semester)に通常在籍していること。
- ・ プログラム実施Semester(2022年度秋Semester)に在籍状態が「留学」「休学」となる場合は受講不可。
- ・ 停学中の学生は、申請締切日までに停学期間が終了する場合には、申請することができます。

【言語学修状況】

- ・ プログラム実施Semester(2022年度秋Semester)時点で、以下条件を満たしていること。
英語基準学生が日本語開講プログラムを受講する場合
 - 日本語で授業が行われるため、授業内容を理解することができる程度の日本語能力が必要です。日本語基準学生(スタンダードトラック)が英語開講プログラムを受講する場合
 - 英語中級 A・Bの単位を修得済であること。
- ・ E/J 開講の場合、言語要件はありません。

【所属学部】

- ・ 受講者の選考にあたっては、開講学部にも所属する学生が優先される場合があります。ただし、開講学部の所属学生以外も申請できます。

【その他】

- ・ 申請時点で日本国内に在住している必要があります。
- ・ 上記以外にシラバスの「履修の目安」や「学生への要望事項」が定められている場合があります。詳細は、シラバスで確認してください。

【海外プログラムのみ】

- ・ プログラム参加にあたり、日本から出国し、日本への帰国が必須です。
- ・ プログラム参加には、新型コロナウイルスワクチンの接種が義務となります。(詳細は「[参加における注意事項: 4. 新型コロナウイルスに関する注意事項](#)」を参照)

科目集計分野

科目集計分野

■フィールド・スタディ■

[2011 年度カリキュラム]

プログラム開講学部	APS 学生	APM 学生
APS	専門教育科目	自由選択
APM	自由選択	専門教育科目

[2017 年度カリキュラム]

プログラム 開講学部	科目名	APS 学生				APM 学生	
		APS 専門教育 科目	CSM 専門	ED 専門	HT 専門	IRP 専門	APM 専門教育
APS	文化・社会・メディア フィールド・スタディ (CSM)	他学部科目	○	-	-	-	他学部科目
	環境・開発 フィールド・スタディ (ED)		-	○	-	-	
APM	APM フィールド・スタディ	他学部科目				○	

募集プログラム

【プログラム一覧】

■フィールド・スタディ■

開講学部	学修分野	科目名	プログラム名	担当教員	実習地	日程 ※「派遣期間」とは 日本(現地)発着日を含みます。		単位数	開講言語	派遣中止時の オンライン切替 ○…切替あり ×…切替なし
		【上段】11年度カリ、 【下段】17年度カリ				事前授業	派遣期間			
APS	ED	フィールド・スタディ	地域創生のモデル都市 北九州市フィールドスタディ	土橋 卓也	・ 福岡県北九州市	事前授業	1/18(水)3-4 限 1/25(水)3-4 限	2	J	×
		環境・開発 フィールド・スタディ				派遣期間	2/15(水)-2/18(土)			
						事後授業	2/22(水)3 限			
	CSM	フィールド・スタディ	Experiencing Media, Culture and Creative: Television, Film, Photography and Theatre in Central Europe	MANTELLO Peter A.	・ オーストリア(ウィーン) ・ スロバキア(ブラチスラバ) ・ チェコ(プラハ、ブルノ)	事前授業	1/26(木)4 限	4	E	×
		文化・社会・メディア フィールド・スタディ				派遣期間	2/17(金)-3/3(金)			
						事後授業	3/1(水)※現地にて			
CSM	フィールド・スタディ	タイ地域研究プログラム: 特異性を多角的に見る方法 Thai Studies Programme: Uniqueness through Multifaceted Lenses	塚本 崇 TSUKAMOTO Takashi	・ タイ(バンコク)	事前授業	11/30(水)5 限 12/7(水)5 限 1/11(水)5、6 限	2	E/J	×	
	文化・社会・メディア フィールド・スタディ				派遣期間	2/19(日)-2/26(日)				
					事後授業	2/25(土) ※現地にて				
APM	-	フィールド・スタディ	企業調査研究プログラム (METI 選定企業 九州・沖縄の ケーススタディ)	藤本 武士	・ 福岡県古賀市 ・ 沖縄県那覇市、恩納村、沖縄市	事前授業	2/15(水)2-5 限 2/16(木)2-5 限 2/17(金)2-5 限	2	J	○
		APM フィールド・スタディ				派遣期間	2/22(水)-2/25(土)			
		フィールド・スタディ				事後授業	2/25(土)2 限※現地にて			
	-	フィールド・スタディ	Social Innovation and Entrepreneurship (SOLVE)	ACKARADEJR UANGSRI Pajaree	・ タイ(バンコク、ナコン・ラチャシマ)	事前授業	2/11(土)3-4限	2	E	×
		APM フィールド・スタディ				派遣期間	2/15(水)-2/21(火)			
						事後授業	2/24(金)3 限			
-	フィールド・スタディ	Indian Entrepreneurship Immersion Camp (IEIC)	PARDO Phillip Dean	・ インド(ムンバイ、ハイデラバード、コーチン)	事前授業	1/28(土)3-4 限	4	E	×	
	APM フィールド・スタディ				派遣期間	2/16(木)-2/28(火)				
					事後授業	3/4(土)3 限				

【注意】

- ・ 各プログラムの詳細は、必ずシラバスで確認してください。シラバスは [Off-campus Study Program Web サイト](#)に掲載しています。
- ・ このプログラムの単位は、各セメスターの履修科目登録上限単位数には含まれません。
- ・ このプログラムの履修登録は大学が行います。
- ・ 2022 年度秋セメスターの科目として登録されますが、フィールド・スタディの成績発表は 2023 年 4 月末に行われます。

募集概要

募集プログラム

今回募集するプログラムは、「[募集プログラム](#)」で確認してください。

複数の Off-campus Study Program への申請について

- ・ 申請条件を満たす場合、複数プログラムへの申請が可能です。その場合、申請する全てのプログラム分のオンライン申請をしてください。なお、オンライン申請の際、入力開始画面に「複数のプログラムに申請しますか」という問いが表示されますので、必ず「はい」を選択し、必要事項を入力してください。
- ・ オンライン申請において「プログラムの日時が重複しないプログラムに複数合格した場合、全てのプログラムへの参加を希望しますか？」に対して「はい」と選択していた場合も、申請したプログラム同士の実習・授業等の期間が重複している場合は、申請時に選択した優先順位に基づいて、選考を行います。

申請方法

申請期間中に、以下の申請を行ってください。

申請期間: **2022/10/12(水)~10/26(水) 14:00**

[Off-campus Study Program Web サイト](#)からオンライン申請ページにアクセスしてください。

- ・ オンライン申請ページは申請期間開始と同時に公開されます。
- ・ 複数回提出した場合、提出日が新しいものを受け付けます。
- ・ オンライン申請のプロセスで以下が必要になります。予め準備の上、申請してください。
 - (1) 志望理由
 - (2) パスポートの顔写真ページ（未取得の場合はその旨、申請ページ上で申告してください。）

パスポートについて

- ・ 各国の定めるパスポートの有効期限を確認し、現在持っているパスポートが派遣国・地域が指定する期限を満たしていない場合、速やかに更新手続きをしてください。
- ・ パスポート未取得の場合は、2022年11月末までに取得できるよう、申請方法を調べて取得してください。

パスポートコピーのアップロードについて

ファイルは、以下の例に習ったファイル名で保存した上で、アップロードしてください。

- [パスポート] Passport_氏名_学籍番号
(例: Passport_YamadaTaro_11223344.pdf)

【注意事項】

プログラムへの参加が決定した場合、「[誓約書](#)」をオンライン提出していただきます。申請の時点で、必ず保証人の同意を得た上で申請してください。誓約書には、申請者本人、及び保証人両者の直筆署名が必要です。

選考方法

- ・ 書類審査による総合的な選考を行います。（書類選考の段階で面接が必要と判断された場合は、別途連絡します。）
- ・ 申請者が多い場合、各プログラム実施学部所属学生が優先されます。

募集ガイダンス日程

日時: 2022/10/12 (水) [日本語] 15:10-15:50 / [英語] 16:00-16:40
会場: ハイブリッド形式 (教室: F102 / Zoom MTG ID: 960 7971 5220)

選考結果発表

2022/11/11(金) (Campus Terminal「あなた宛ての重要なお知らせ」で通知)

受講者ガイダンス

2022/11/16(水) 5 限 (16:10-) (教室等詳細は後日案内)

参加における注意事項

【注意】基本的な注意事項は巻末添付「[プログラム共通事項](#)」に記載しているため、必ず確認した上で申請してください。以下には本プログラム独自の参加条件を記載していますので、熟読した上で応募を検討してください。

1. 経費

プログラムに要する費用

- ・ プログラム参加にはプログラムに要する費用を支払う必要があります。各プログラムにかかる費用の目安はシラバスに記載しています。海外プログラムについては、海外渡航需要の高まりや円安の影響等で目安額を上回る可能性があります。
- ・ プログラムに要する費用や支払い期限は、11月下旬頃までに確定します。(支払い期限は12月中旬頃を予定)
- ・ 支払い期限までに支払いがされない場合、支払い期限日翌日を以ってプログラム受講資格が取り消されます。その場合、「参加辞退」と同様の扱いとし、既に発生した費用は学生本人の負担となります。
- ・ 11月下旬に現地派遣可能と判断されたものの、その後の状況によって派遣中止の判断がされた場合、その時点までに発生した費用(航空券のキャンセル費等)は学生本人の負担となります。
- ・ (海外プログラムの場合) 新型コロナウイルスの影響で、規制がかかり入国できない可能性や、入国のために別途費用が発生する可能性があります。その際に発生する費用は、原則自己負担となります。

2. 参加において必要な手続き等

実習地への交通手配

[国内実施プログラムの場合]

- ・ 原則、担当教員の指導の下、個人で手配をする必要があります。

[海外実施プログラムの場合]

- ・ 航空券は大学が手配します。支払い方法は受講決定後にプログラム毎に連絡します。
- ・ 渡航経路は日本出国・日本帰国とし、担当教員、他参加者と共に渡航・帰国します。現地集合、現地解散はできません。また、渡航スケジュールは本学が指定し、個人都合による行程の変更をすることはできません。

3. 免責事項・留意事項

履修登録における留意事項

- ・ 事前・事後授業及びプログラム期間が、正課の講義・補講や定期試験・追試験、履修登録期間や正課外活動や研修などと重なる場合も特別な配慮はありません。あらかじめ学年暦やその他の活動期間とプログラム期間を確認してください。
- ・ 既に登録済みの2022年度秋 semester 第2クォーター科目・冬セッション科目と、希望するフィールド・スタディのプログラム実施期間(事前授業、実習、事後授業)が重複している場合も、プログラムへ申請することは可能です。ただし、プログラムへの受講が決定した場合は、必ず、各自、履修登録修正期間2で秋 semester 第2クォーター科目・冬セッション科目の履修登録を削除してください。
- ・ キャンセルにかかる費用は学生本人の負担となります。(停学になった場合を含みます)

4. 新型コロナウイルスに係る注意事項

ワクチン接種・PCR検査について

- ・ プログラムへの参加が決定した場合、以下①②のどちらかを満たした上で、国内プログラム参加者はワクチン接種証明書、海外プログラム参加者は海外渡航者用接種証明書(ワクチンパスポート)の取得・提出が必要です。
 - ① 新型コロナウイルスのワクチンを3回接種している
 - ② 新型コロナウイルスのワクチンの2回目接種日から派遣最終日が半年以内である
- ・ プログラム開始日(海外プログラムの場合は搭乗時間)から72時間以内にPCR検査もしくは抗原検査を受検し、アカデミック・オフィスへ検査結果を報告する必要があります。陰性の場合のみプログラムに参加することが出来ます。(詳細は受講者ガイドンス等で連絡)
- ・ (海外プログラムの場合) 派遣国によって陰性証明書の提出、検査種類または実施日時の指定がある場合には、その指示に従ってください。

派遣中止について

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、派遣中止判断を行う可能性があります。(添付) [プログラム共通事項「4.派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」](#)参照)
- ・ 派遣中止や中断、内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、キャンセル費用等を負担する必要があります。
- ・ 派遣中止になった場合、プログラム開始後でも成績ならびに単位は付与されません。

5. プログラムの中止について

プログラム中止判断基準

- ・ 現地派遣可否の判断は 2022 年 11 月下旬に行います。
- ・ (海外プログラムの場合) 現地派遣中止判断日もしくはそれ以降の現地実習開始までに、調査実習地が外務省危険情報レベル 2 以上になった場合、現地派遣・実習を中止します。(派遣国毎に判断) 現地実習中にレベル 2 以上に引き上げられた場合、教学部と担当教員が協議した上で帰国判断を行います。

添付) [プログラム共通事項「4.派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」](#)参照

プログラムのオンライン切替について

派遣中止となった場合、プログラムによってはオンラインに切り替えて実施する場合があります。受講許可後に派遣中止となりオンラインに切り替わった場合は受講辞退を認められ、履修削除扱いになります(=成績評価は「F」になりません)。プログラム内容の変更や受講辞退手続きについては中止が決定した際に改めて連絡します。現時点でのオンライン切替可能性については、[本冊子 P.3 募集プログラム一覧「オンライン切替」列](#)を確認してください。

その他

宿泊

- ・ シラバスに掲載されている各プログラムの宿泊形態を確認してください。
- ・ 宿泊先では、宿泊施設のルールや指示に従ってください。

参加資格について

- ・ プログラムへの受講許可が下りていない学生がプログラムへ参加することはできません。

実習中の危機管理・健康確認

- ・ 実習中は常時のマスク着用を義務とし、感染予防対策を行ってください。
- ・ 毎日朝・夜に体温チェックを行い、風邪等の症状がある、または 37.5℃以上の熱がある場合、引率教員に報告してください。

スケジュール

日程	内容
2022年	
10/12 (水)	募集開始
10/12 (水)	募集ガイダンス [日本語] 15:10-15:50 / [英語] 16:00-16:40 教室: F102 / Zoom MTG ID: 960 7971 5220
10/26(水) 14:00	募集締め切り
11/11(金)	選考結果発表
11/16(水) 5限 (16:10-)	受講者ガイダンス<参加必須>
11月下旬-2023年2月	事前授業 (詳細はシラバス参照)
2023年	
1月18日(水)	危機管理ガイダンス<参加必須>
2月-3月	実習及び事後授業(詳細はシラバス参照)
4月末	成績発表

上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後にご案内します。

フィールド・スタディに関する問い合わせ先

アカデミック・オフィス B棟1階
TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102
担当者: アカデミック・オフィス 下村、伊東、井戸沼、二宮
Email: atfs@apu.ac.jp

プログラム共通事項

1. 査証(ビザ)

出発から帰国までに必要となるビザを確認の上、学生本人の責任で申請してください。必要となるビザは、学生の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なります。必要となるビザ(トランジットビザを含む)および必要書類等は各大使館のホームページ等で各自確認してください。なお、ビザ申請要件は予告無しに変更される場合がありますので、最新情報を入手するようにしてください。オンアライバルビザ(On-arrival Visa)での参加は、ビザ発給国の定めにより渡航前にビザを取得できない場合以外は原則認められません。

万一、所定の期日までにビザが取得できない場合は、派遣・留学は取り消しとなります。また、派遣・留学開始時期の変更等はいりません。

その際にかかるキャンセル料は、参加者の負担となります。負担するキャンセル料と成績については「免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。

【国際学生のみ】

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の条件を確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スチューデント・オフィスで確認してください。

注意)プログラムによってはビザの申請を代行会社に委託している場合があります。詳細はプログラム担当者に確認してください。

2. 保険

個人で既に加わっている場合も含め、APU 及び派遣先大学が指定する国内・海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、事前授業又は参加者ガイダンスで説明します。

3. 予防接種

事前授業又は参加者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類などを案内します。ヘルスクリニックが推奨する予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

ただし派遣先によっては予防接種が必須になる場合があるため、ガイダンス内の指示に従ってください。

4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し

① 次の条件に当てはまる場合は、教学部長が学生派遣の中止を判断します。

- 1) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報がレベル 2 以上である場合。ただし、新たな感染症の蔓延等により、感染症危険情報が発令された場合は、状況に応じて判断する。
- 2) 社会情勢を鑑み、プログラムを安全に実施できないと考えられる場合
2-1) 中止判断にあたり留意されることは、実習先での天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・危機発生時の派遣先機関における派遣学生への支援内容・その他不可抗力に起因する事態が発生した場合等が想定されます。
- 3) 派遣先大学が、渡航を伴う APU からの学生受入中止を判断した場合

② 以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。なお、交換留学、ダブルディグリープログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除くプログラムについては、参加を取り消された場合、成績は原

則として「F」評価となります。

- A) 参加態度・出席状況などを勘案し、受講不相当と判断された場合
- B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合
- C) 指定の海外旅行傷害保険などに加入しない場合や、書類の提出を怠る、必要なガイダンスに参加しないなど大学の指示に従わない場合
- D) 負傷・病気等で留学が適当でないと大学が判断した場合
- E) 不正行為を行った場合
- F) その他学生としての本分に反した場合

- ③ 受講が取り消された時点で既に発生している費用については、学生本人が費用を支払う必要があります。

5. 選考結果発表後の辞退について

本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。従って、選考結果発表後の辞退は原則認められません。

申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。なお、期日内に大学が指定した費用の支払いがない場合は辞退したものとして扱います。キャンセル料については、次項「6. キャンセル料について」を参照してください。単位付与があるプログラムの場合、辞退した者の成績評価は原則として「F」評価となります。

6. キャンセル料について

選考結果発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合、辞退する学生は、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。

既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。

7. 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。選考結果発表後に問題が判明した場合および「4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」に記載している事象が発生した場合も、特別な配慮等はしません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。

注意) 講義内容が同じプログラムに複数回参加することはできません。

申請を希望するプログラムが、すでに修得済みのプログラムの内容と同一かどうか不明な場合は、事前にアカデミック・オフィスにお問い合わせください。

8. 個人情報の取扱いについて

詳細は、合格者あてにお送りする誓約書を参照してください。

9. プログラム参加にあたって

- ① プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前/事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。
- ② プログラム参加中は「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」および「Off-campus Study Program へ参加する学生のための危機管理ガイドライン」を遵守してください。

遵守事項(交換留学、ダブルディグリー・プログラム、EXPLORE、APU グローバリサーチプログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除く)

1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program(以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学(以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関(以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム(J-TAS)等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。
- (7) 本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起こったとしても本学、派遣先はその責任を負わない。

3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用(実習費・宿泊費・交通費・保険料等)は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)を負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。

4. 入国・帰国 (海外で実施されるプログラムのみ)

- (1) プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。
- (3) (1)および(2)の規定にかかわらず、本学が必要と認めたプログラムにおいては、本学が事前のガイダンスで指定する方法により、日本出国日および日本帰国日を事前に大学に申告するとともに、自己責任で現地集合し、帰着するものとする。

5. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。

誓約書

私は、下記プログラムに参加するにあたり、募集要項・シラバスおよび別紙の遵守事項を理解し、各事項を厳守し、誠実に履行することを、ここに誓約します。申請書やその他提出書類に記載した個人情報(氏名、性別、生年月日、その他本プログラムに係り大学へ提供した情報)は、プログラム参加手続および本学が管理・運営に関する業務の目的のために、本学内で使用されること、また、第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、査証取得代行会社、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、関係国(日本、参加学生の母国、派遣国)の在外公館及び政府機関)に提供されることに同意します。

本人記入欄

日付 _____

学生本人署名 _____ ※「描画」で署名(入力不可)

学籍番号 _____

参加プログラム	フィールド・スタディ	地域創生のモデル都市 北九州市フィールドスタディ
	フィールド・スタディ	Experiencing Media, Culture and Creative: Television, Film, Photography and Theatre in Central Europe
	フィールド・スタディ	タイ地域研究プログラム: 特異性を多角的に見る方法
	フィールド・スタディ	企業調査研究プログラム(METI 選定企業九州・沖縄のケーススタディ)
	フィールド・スタディ	SOLVE
	フィールド・スタディ	Indian Entrepreneurship Immersion Camp (IEIC)

学部 (APM / APS)

回生 (1 / 2 / 3 / 4 / その他)

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

保証人記入欄

■私は、募集要項・シラバス及び別紙の遵守事項を本人に遵守させるとともに、これに反することによって生じた一切の事項について責任を持つこととします。また、プログラム参加において本人が負担する一切の債務については、プログラムに要する費用を限度額として保証いたします。

日付 _____

保証人署名 _____ ※「描画」で署名(入力不可)

郵便番号 〒 _____

住所 _____

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

電話番号 _____ (ハイフン不要)

本人との関係 _____

【以下のいずれかに該当する場合は、本誓約書を受理いたしません。】

- ・ 本人または保証人の署名がそれぞれの当人による直筆でない場合、または、両人の記入欄における筆跡が同一人物のものであると判断される場合
- ・ 友人や知人などが保証人になっているなど、その保証能力に欠けると本学が判断する場合
- ・ 記入欄に未記入箇所がある場合
- ・ その他、内容について虚偽の疑いがある場合